

特集

クラブハウスを活用するクラブ

NPO法人ELF丸亀 ＜香川県丸亀市＞

総合型クラブが事務作業等を行うための事務局スペース、会員や地域住民が自由に交流・談話できるサロンスペースを有したクラブハウス機能を確保することにより、地域の誰もが自由に交流できる場を提供することはクラブにとって活動基盤となり得ます。

そこで、既にクラブハウスを活用し、地域づくりや活性化に貢献している事例を紹介します。



1. JA香川県農業協働組合にアピールし格安家賃のクラブハウスを確保
2. 農協跡地の効果＝地域住民にも親しみやすく、いつでも気軽に集える場所として機能
3. クラブハウス移転で地元行政や教育委員会、体育協会など各団体から信頼を得る

1 クラブ概要

クラブ設立のきっかけは、少子化による児童数減少に伴い、単一小学校区のスポーツ少年団として活動が続けるのが難しくなったことでした。隣接する城西小学校区でも同じ問題を抱えていたため、合同で練習を始めました。その後、丸亀市にも働きかけて、それまでにない校区を超えた合同チームで試合に出場するなど、サッカークラブの活動を充実させていきました。

そうした折に、現クラブ理事長が「総合型地域スポーツクラブ」のことを知り、周囲に働きかけ、スポーツと文化的活動を通して、地域で子どもを育てる環境づくりを狙いとしたクラブを設立することになりました。設立の中心となったのは、前身のサッカークラブの指導者や保護者、そして市内で理科教育に熱心に取り組む教育関係・企業関係の退職者の方々でした。行政等の支援を受けず、地域住民が中心となって立ち上げたクラブであり、設立2年目の平成15年12月にはNPO法人格を取得し、現在に至っています。

クラブ理念は、

E = Everybody みんな(子どもから高齢者までみんなが集う活動)

L = Lively 元気で(生き生きとした活動)

F = Future 未来へ(大きな夢と希望を持って発展する活動)

であり、クラブ名にもなっています。設立当初から大きな変化はありませんが、身の丈に合わせた活動を地道に続けています。現在、スタッフの最高年齢が92歳、平均年齢が70歳となっており、世代交代が課題です。

2 高額家賃がネックとなり、JA農協支店跡地にクラブハウスを移転

クラブ設立当初から、活動の拠点として、またクラブ運営維持費を確保するための教室事業を展開するにあたって、クラブハウスは絶対に必要であると考えていました。クラブ設立総会の半年後には、人脈を駆使して、丸亀市に隣接する善通寺市「kapika」にクラブハウスを置き、活動を始めました。「kapika」は、知り合いの家電店が所有する照明専門の元店舗で、軽量鉄骨2階建て駐車場完備のオシャレな建物でした。しかし、当初は会議が中心であったため、予定していた教室事業を行うことができず、月額20万円の家賃を払い続けることができませんでした。

その1年半後、現在のクラブハウスに移転し、今に至っています。現在のクラブハウスは、丸亀市立城坤小学校の隣にあるJA農協支店跡地(230坪)で、立地条件にも恵まれています。

クラブハウスについては、家賃を支払って保有することを前提に考えていたので、どのようにして格安の家賃で賃貸できるかを第一に考えました。知人の人脈をたどり、非営利活動として社会貢献活動に取り組んでいることをJA香川県農業協働組合にアピールし、現在のクラブハウスを借りることができました。

なお、クラブハウス確保の重要事項としては、「事務所として使用する」、「会議や総会ができるスペースがあり、日常は各種教室として使用する」、「駐車スペース(普通乗用車20台分)を確保できる」、「立地条件」、「少しでも安い賃料」の各項目を満たすべきと考えました。



クラブハウス





農協跡地で地域住民から親しみ 備品の保管・管理等で有効利用

JA農協支店跡地に移って良かった点は、もともと農協であったため地域住民にも親しみやすく、いつでも気軽に集える場所として機能していることです。クラブハウスにあるクラブのPCや印刷機、コピー機は自由に使用することができ、併せて各クラブ・教室で使用する備品等をクラブハウスに保管・管理できる点も、喜ばれています。

クラブハウスでは、ダンス、シニアの健康教室、各種文化教室を定期的に行っています。また、小学校の体育施設開放運営委員会の事務局として地域のスポーツ推進に貢献するとともに、J2のカマタマーレ讃岐の丸亀後援会事務所としても活用されています。その他、クラブの理事会・役員会・総会等の各種会議でも活用しています。



クラブの信頼度・知名度が向上→ 寄付でマイクロバスを所有

クラブ設立当時のNPO法人と言えば、民家の一部屋を事務所にしたり、公民館や学校施設の一部を間借りして運営するところが多かったと思います。その中で、元の農協支店を丸ごと借りてクラブを運営することで、当初、クラブを遠目に眺めていた地元行政や教育委員会、体育協会などから信頼を得たことは間違いありません。このことを契機に丸亀市と協働して第一回全国芝生サミットや西日本スポーツフェスティバルや全国模型飛行機大会を開催しました。

信頼を得たことにより、クラブが行うイベントに市長、教育長、市議員が来賓として出席していただけます。人が動けば、新聞報道やテレビニュースに取り上げてくれます。クラブ運営スタッフも人物紹介で何人も取り上げていただきました。クラブハウスを所有したことで、クラブに対する信頼度や知名度が向上しました。特に、活動拠点の一つである城坤小学校からの信頼度は大きく、丸亀市や丸亀市体育協会からの信頼も厚いです。さらに、クラブとしての信頼度もアップしたことで、念願だったマイクロバスをロータリークラブから寄付していただくことにもつながりました。このクラブ所有マイクロバスですが、健全な青少年活動に貸出しており、利用団体から感謝の声もいただいています。

5 建物の老朽化や雨漏り対策など修繕で苦勞

当クラブの場合、賃貸料が年間100万円ほど必要になり、それとは別に光熱費もかかります。また、賃貸契約において修繕はクラブ持ちとなるため、建物の老朽化や雨漏り対策などで苦勞しています。

6 課題は更なるクラブ活性化 災害時支援拠点も目指す

クラブの課題として、今後は以下の2点が重要と考えております。

- ①クラブハウスでの活動の更なる活性化を図り、地域住民がもっと気軽に集える場所に
していくこと
- ②地域における、災害時の支援拠点として、防災に関する整備を充実させていくこと

今後、学校部活動の新たな動きを踏まえ、クラブハウスの役割や活用方法に更なる期待が寄せられるように思われます。このようなことを含め、クラブハウスの整備に活用できる補助金等がより充実することを願っています。

(香川県クラブアドバイザー 山家 春香)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成14年4月1日(平成15年12月に法人格取得)

所在地 香川県丸亀市城坤・城西地区

運 営 会員数194名(平成30年3月現在)、予算規模406万円(平成29年度)

有給職員 0名(全てボランティアで運営)

特 徴 「スポーツと文化を通して、子どもを育てる環境づくり」を目的に設立。定期活動として、少年・少女サッカー、ソフトテニス、ダンス、体操の運動系4種目に加え、サイエンス、そろばん暗算、書道硬筆、美術造形、韓国語の文科系5教室も実施しています。その他、「全国模型飛行機大会」を15年連続開催、「丸亀なでしこスマイルサッカー交流大会」を主幹、公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)による南米5カ国視察団受け入れなど、多岐にわたる活動を行っています。平成24年に香川県教育文化功勞者表彰、同25年に文科省生涯スポーツ功勞団体表彰を受賞。

連絡先 〒763-0054 香川県丸亀市中津町861番地 NPO法人ELF丸亀事務局
TEL 050-8803-6737 (つながらない場合:090-6883-6546<理事長携帯>)
FAX 050-8803-6737

E-Mail elf-maru@mxi.netwave.or.jp URL <http://elf-marugame.com/>



JOCA研修(クラブハウス)



JOICA研修(クラブハウス前)



サイエンス教室



そろばん暗算



健康教室



老人の健康体操